

劇場公演

# 獅子 ししとひと 仁人

金銀の現代獅子が舞い、仁人が踊る  
XRテクノロジーが拡張するリアルな舞台空間

2022 12.23(金) ~ 12.27(火)

KAAT 神奈川芸術劇場 <大スタジオ>

金獅子=赤嶺豪 照屋大地 銀獅子=吉田翔 當山柚人  
(Eisa-Crew CROWN) (NEO Ryukyu) (NEO Ryukyu) (NEO Ryukyu)

仁人=鈴木絵理 田中俊太郎

音楽=畑中正人 杉本亮 米澤一平 鎌野愛

ビジュアルデザイン=WOW AR演出=ライノスタジオ 獅子造形=松岡象一郎

構成・演出=タグチヒトシ (GRINDER-MAN)

助成=芸術文化振興基金 後援=全日本郷土芸能協会 共催=宜野座村文化のまちづくり事業実行委員会  
主催=株式会社イッカク



shishi.grinder-man.com



獅子と仁人 横浜公演

2022 12.23(金) ~ 12.27(火)

会場

KAAT 神奈川芸術劇場 <大スタジオ>

神奈川県横浜市中区山下町 281

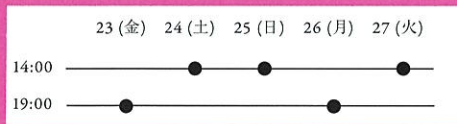
前売: 一般 5,000 円 / U30 割 3,500 円  
よる割 4,000 円 (12/23・12/26)

当日: 一般 6,000 円 / U30 割 4,500 円  
よる割 5,000 円 (12/23・12/26)

※全席自由 ※入場は来場順にご案内

※未就学児入場不可

※ U30 割は当日証明書要提示



終演後にアフタートークセッション開催

公演終了後に出演者や製作チームによるトークセッションを日替わりで開催します。詳しくはウェブサイトにて後日発表します。

チケット

購入方法

問い合わせ

① STORES (電子チケット)

1kc.stores.jp/



② チケットかながわ

www.kaat.jp/



Tel : 0570-015-415 (10:00 ~ 18:00)

窓口: KAAT 神奈川芸術劇場 2F (10:00 ~ 18:00)

hello@1kc.jp

獅子と仁人ウェブサイト

shishi.grinder-man.com



Facebook ページ

www.facebook.com/shishitohito



新獅子の門出を共に祝い、

未来へつなげていく支援を募ります

沖縄公演そして横浜公演では、生まれ変わった金銀 2 体の新獅子のお披露目を予定しています。それにむけて、現在製作中の獅子の誕生を共に祝い、末永く応援してください。2 年前に多くの人々の手によって生まれた獅子たちは、これまでさまざまな縁をつないできました。これからの芸能文化の輪を、一緒に創りませんか。



くわしくはこちら  
shishi.grinder-man.com/  
crowdfunding

現代芸能「獅子と仁人」は、世界にひろく伝わる芸能「獅子舞」をもとに、これからの鑑賞体験の可能性をデジタルテクノロジーで追求する舞台芸術プロジェクトです。

2020 年 11 月に沖縄県宜野座からオンライン配信で誕生した金と銀の現代獅子は、オンデマンド配信そして野外パフォーマンスへと活動の場をひろげ、今回プロジェクト初となる劇場公演に挑みます。

本作では、デジタルテクノロジーによる最先端の表現がふんだんにもりこまれています。3D モデリングによる緻密な獅子のデザイン、その成形を可能にした 3D プリンティング技術。金と銀の“眼がない”現代獅子にふさわしい舞には、日本各所につたわる獅子舞の動きを研究しました。共演するのは仁人(ひと)として優美な男女のコンテンポラリーバレリスト、そして声とピアノとタップダンスによる協奏がくわります。さらにはリアルタイム CG によるインタラクティブな AR (Augmented Reality) が、舞台上を動き回るワンカメラワークによって、ダイナミックな超越空間を生成します。

神の化身か、もののけか。見えないもの聞こえないものがわたしたちを超えていく。沖縄獅子の舞手と東京の演出グループとバレエダンサー、さまざまな音楽家にインタラクティブ CG スタジオなど、多彩なコラボレーションで生まれる本作に、どうぞご期待ください。



劇場公演 獅子と仁人 (横浜)

金獅子=赤嶺豪 (Eisa-Crew CROWN)、照屋大地 (NEO Ryukyu)

銀獅子=吉田翔 (NEO Ryukyu)、富山柚人 (NEO Ryukyu)

仁人=鈴木絵理、田中俊太郎

カメラ=酒本凌、加部壮平

音楽=畑中正人、杉本亮、米澤一平、鎌野愛

構成・演出=タグチヒトシ (GRINDER-MAN)

獅子演出=鳥袋拓也 (創作エイサー LUCK)、

与那覇仁 (NEO Ryukyu)

振付=伊豆牧子 (GRINDER-MAN)

ビジュアルデザイン= WOW

AR 演出デザイン=谷口勝也

AR 演出プログラム=高島光

AR アパタースキャン = A440

獅子造形アーティスト=松岡象一郎

獅子造形アシスタント=中村希世、百瀬仁郎、

梅田翔太、伊波里紗

獅子造形 3D データ = TAPP

衣装デザイン=中村実樹

舞台監督=大鹿展明

照明=田代弘明

音響=福岡功訓

配信=江口拓人

制作=田村孝史、三橋俊平、宮崎有里

助成=芸術文化振興基金

後援=全日本郷土芸能協会

共催=宜野座村文化のまちづくり事業実行委員会

主催=株式会社イッカク

芸能と AR が舞台空間でひとつになる。  
古きと新しきが呼応する最先端の鑑賞体験。